

R-50XXL テンショナー

大型締め機 取扱説明書

安全にご使用いただくために

1. 製品ご使用の前に本取扱説明書を最後までお読み下さい。機器の正しい取扱方法を紹介しています。
2. ご使用時には保護ゴーグル及びマスク、安全グローブを着用してください。
3. 結束バンドと梱包対象物の間に指または体の一部を置かないで下さい。
4. 切断されたバンドは後方または前方に跳ねる事があります。結束バンド切断の際、安全な場所にしっかりと立ち切断するバンドを手で押さえて下さい。
5. バンド引締め時に結束バンドが破断する可能性があります。引締め時にはバンド直線上から離れて下さい。
6. メンテナンスに使用する交換部品はお買い求めの販売店に訊ね、純正交換部品をご使用下さい。



1.



2.



3.



4.

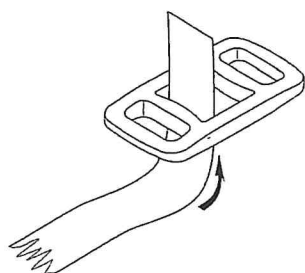


5.

製品仕様

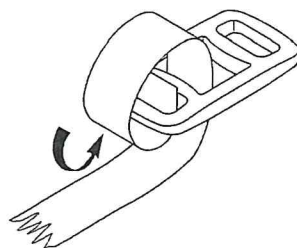
製品重量	: 4.5 kgs
対応バンド幅	: 32－50 mm マデ
対応バンド厚み	: 1.2 － 3.0 mm

バックル/バンドのセット方法



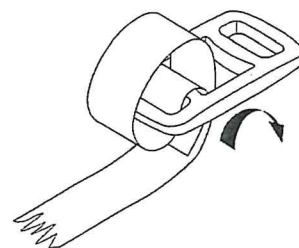
1. バンド端をバックルに通す

バンド端をバックル底面、中央開口部より通す。



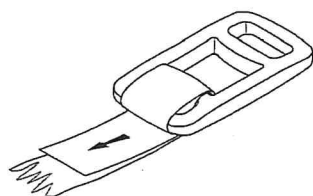
2. バンド端をセットする (1)

バンドを大きく外側に回し、バックル底面より手前側開口部に通す。



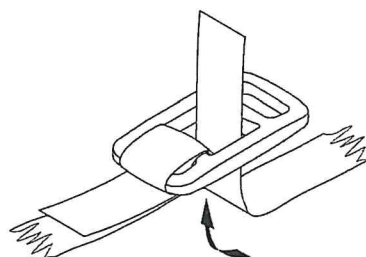
3. バンド端をセットする (2)

バンドを上側からバックル中央開口部へ挿入、押し出す。



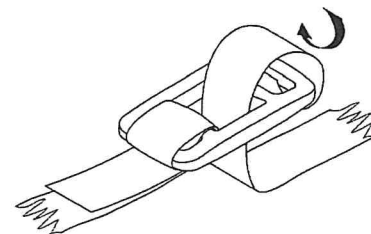
4. バンドの弛みを取り除く

バックルに通したバンドをしっかりと引き、バックル部バンドの弛みを取り除く。



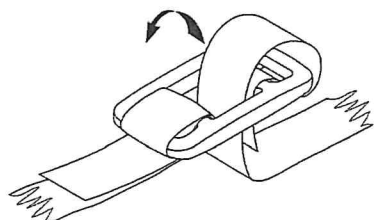
5. 反対側バンド端をバックルに通す。

対象物にバンドを掛け、バンド反対側の端をバックル底面、中央開口部より通す。



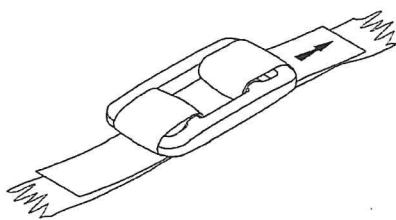
6. バンド端をセットする (1)

バンドを大きく外側に回し、バックル底面より奥側開口部に通す。



7. バンド端をセットする (2)

バンドを上側からバックル中央開口部へ挿入、押し出す。



8. バンドの仮締め

バックルに通したバンドをしっかりと引き、バックル部バンドの弛みを取り除く。

操作方法



1. 締め機のセット

引締めハンドルとハンドルプレートを持ちながら押し下げ、本体フレーム切込みにハンドルプレートを合わせハンドルプレートを放します。



右手でI-Uハンドルを握り、押え板を上げクランプ部を解放し、バックルをセットしたバンドに締め機をセットします。

右手のI-Uハンドルを放すと締め機がバンドに固定されます。

***** ***** ***** ***** ***** *****
！注意！ バックルと締め機の間は充分にあけて下さい。
 引締めする事によりバックルとの距離が近づきます。
 ***** ***** ***** ***** ***** *****



2. バンドの引締め

上側のバンドを巻取り軸に通し、たるみが無くなるまでしっかりと挿入します。

ハンドルを握り、引締めハンドル全体を前後する事で引締めを行います。

***** ***** ***** ***** ***** *****
！注意！

1度の引締め作業で巻き取れるバンドの長さは限られます。
 巻取り軸スペースが一杯になった場合、一度本機を取外し巻取り軸よりバンドを取除いた後、再度引締めを行って下さい。
 無理な引締めは機器破損の原因となります。

***** ***** ***** ***** ***** *****



3. クランプ部の開放

バンドの引締めが完了したら、“1. 締め機のセット”と同様の手順でクランプ部を開放します。



引締めハンドルとハンドルプレートを持ちながら押し下げ、本体フレーム切込みにハンドルプレートを合わせ、ハンドルプレートを放します。

右手でI-Uハンドルを握り、押え板を上げ、クランプ部を解放します。



4. 本体の取り外し

クランプ部開口を維持したまま、本体をしっかりと持ち、本体後方を右側に振り、クランプ部に挟んでいたバンドより本機をはなします。

バックルに対し本機をまっすぐ向け、そのまま本体を後方に引くことで、巻取り軸にあるバンドを引き出します。

